

第6回 西宮浜小中一貫校設置準備委員会 議事録

日 時：令和元年7月23日（火） 午後5時30分～午後7時30分

場 所：西宮市立西宮浜中学校 1階地域交流室

出席者：【委員】（15名）

大阪樟蔭女子大学山本教授、西宮マリナパークシティ協議会木村会長、
教育連携協議会木挽委員長、加藤主任児童委員、青少年愛護協議会中村会計、
西宮浜小学校PTA加藤会長、西宮浜中学校PTA堀兼会長、なぎさ保育園内田代表、
いるか幼稚園松本園長、西宮浜小学校清水校長、西宮浜小学校野田教頭、
西宮浜中学校金地校長、西宮浜中学校岡教頭、津田学事・学校改革部長、
佐々木学校教育部長

【事務局】（13名）

谷口学校教育部参事、奥谷学校改革推進課長、河内学校改革調整課長、
木戸学校教育課長、岩本教育研修課長、中島社会教育課長、
中津学校教育課係長、木田教育研修課係長、西川学校改革推進課指導主事、
足立学校改革調整課嘱託職員、宮崎学校教育課嘱託職員、
岡本学校教育課嘱託職員、木村社会教育課嘱託職員

配布資料：次第

- 【資料1】 学校説明会について
- 【資料2】 パンフレット（案）
- 【資料3】 校名について
- 【資料4】 総合教育センターの付属校化について
- 【資料5】 学校より
- 【資料6】 PTAより
- 【資料7】 前回以降の主な動き・今後の主な動き

1. 開 式

- 事務局が開催を宣言。
- 津田委員より開会の挨拶。

2. 学校説明会について（報告）

- | | |
|-----|---------------------|
| 委員長 | ● 学校説明会の報告をお願いする。 |
| 事務局 | ● 学校説明会の内容について説明する。 |
- <主な説明箇所>
- ・市政ニュースなどで広報し、8月17日、18日に保護者向けの学校説明会を実施する。
 - ・ホームページと電話での申し込みで183名（7/23 9:00 現在）の申し込み

- があり、満席となった会場もある。
- ・パンフレットを用いて新設校の概要や特色について説明する予定。
- 委員 Q 先進的な学習活動とあるが、外国語活動やプログラミング教育については全国でも一斉に取り組まれるものである。その中で西宮市独自の取り組みというものはあるのか。
- 事務局 A 指導要領では 3 年生以上が外国語活動を行うということになるが、西宮浜では 1 年生から外国語の時間ということで徐々に行うところが独自の取り組みである。
- 委員 Q プログラミングに関してはどうか。
- 事務局 A プログラミング教育については、学校に専門的な知識を持った職員が常駐することで、学校の先生方と共にいち早く先進的な学習を取り入れることができると考えている。
- 委員 A 指導主事が西宮浜に常駐し、独自のカリキュラムを開発しているところであり、カリキュラム上も進んだ状況にある。様々な教育活動を通して、1 年生段階からプログラミング的な思考を育てられるプログラムを考えている。
- 委員長 Q 教育の内容的な新しさに加えて、人や組織としての新しさという事にチャレンジしていこうという事が当初の話し合いではあった。他市ではされていない事が行われてきているという主張を出さないと、魅力としては出てこないのではないか。
- 委員 A 課長から説明があった通り、指導主事が常駐する形をとっているので、人の手厚さも主張できると考えている。
- 委員 Q 国際科の高校生と交流とあるが、どこの学校か。
- 委員 A 兵庫県立国際高校である。
- 委員長 Q 学校説明会の事で、満席でお断りしているというのは、他会場を案内しているということか。
- 事務局 A その通りである。
- 委員長 Q 今後、満席の会場が増えてきた場合の対応はどうするのか。
- 事務局 A 多数を断らないといけない状況になれば、新たに日を設定して説明会を実施することを検討する。
- 委員長 Q 説明会において、通学方法についてどうなるのかという質問も出るだろうがどのように答える予定か。
- 事務局 A 通学方法などのパンフレットに記載されていない情報はパワーポイントを用いて説明することになる。通学方法については、「基本的には徒歩または公共交通機関を用いて、保護者の責任の下に通学してもらうことになる」といった回答になるだろう。

3. 校名について（報告）

- | | |
|------------------------|---|
| 委員長 | ● 校名について報告をお願いする。 |
| ①校名について | ● 校名決定の経緯について説明する。 |
| 事務局 | <主な説明箇所>
・ 校名決定までの流れ
・ これまでの経緯の説明
・ 事務局による案の提示・ |
| ②総合教育センターの
付属校化について | ● 総合教育センターの付属校化について説明する。 |
| 事務局 | <主な説明箇所>
・ 付属校化における文部科学省の見解について
・ 西宮では付属あおぞら幼稚園の先例があり、設置者が総合教育センターと誤解される可能性は低いことから、西宮市立総合教育センターの付属校として位置付けることとする。 |
| ③「付」と「附」の扱
いについて | ● 新聞等では「付」が、公用文などでは「附」が用いられているが、西宮市立子育て総合センター付属の幼稚園が存在することから、今回も「付」で統一する必要がある。 |
| 事務局 | ● 子育て総合センターが設置した幼稚園ではなく、どちらも西宮市が設置した機関であるという横並びの関係を示すために「付」を用いた経緯がある。
● 今回も意図としては同じであることから「付」が適当であると考えている。 |
| 委員長 | ● 前回の設置準備委員会では「付属」が付いた方が良いという声が多かった。それが実現したということによかった。 |

4. 各種報告について

- | | |
|---------|---|
| 1. 学校より | ● 小中学校より進捗状況の報告を行う。 |
| 小中校長 | <主な報告箇所>
・ 現在の検討中の課題や決定事項について説明。
・ 基本的には教職員数は変わらないので、その中で公務分掌や教員の配置、授業時数などは夏休み中にシミュレーションを行う。
・ 特別支援に関しても市と様々な協議を行っている。
・ 東校舎で5,6年生が使うものの移動や、新たに購入が必要なもの、置き場所の確保、それに伴う予算の確保など検討が必要である。 |
| 委員長 | ● 人や予算について、窓口を決めて進めていかななくてはならない。必要なものや人についてもう一度洗い出す必要があるだろう。 |
| 委員 | ● 今ある予算の中から工夫して対応していく。開校の4月にどうしても必要なものということについて優先的に対応していく。
● 市費で賄っている人の配置について、他の学校と明らかに差別化して配置することは精査しながら進めないといけない。教育委員会としてサポート |

できる方法を考えなければならないという課題意識は持っている。

2. PTAより 中P会長

● PTAの進捗状況の報告を行う。

<主な報告箇所>

- ・1つのPTA組織にするために、月1回の会議を開いている。
- ・メール配信については小中ともに同様のものが利用できる方向で進めている。
- ・それぞれのPTA組織の違いや、会計における課題、校区外から通う家庭のPTA活動の参加の仕方における課題など、様々な課題について検討している。
- ・子供たちと学校にとってよい形になるように考えている。

3. 庁内設置準備委員会の報告

事務局

● 第10回庁内開校準備委員会について報告する。

<主な報告箇所>

- ・条例や規則の改正について、重点的に話し合っている。
- ・前回から両校長にも参加し、話し合われている内容を確認してもらうと共に、学校側の準備の進捗状況などについて意見をもらった。
- ・次回以降も両校長は参加していく予定。

4. 前回以降および今後の動きについて

事務局

<主な報告箇所>

- ・いるか幼稚園で学校説明会を実施した。
- ・なぎさ保育園での学校説明会は8月中に開催予定。
- ・市川市立塩浜学園への視察は、両校長と教諭も参加する。

委員長

Q 6月議会の内容について説明を願う。

事務局

A 3名の質問の概要について説明する。

5. 質問・意見

委員長

● 全体を通して質問や意見を募る。

委員

Q 現在の児童や生徒の雰囲気はどうか。

小校長

A 校歌や校章のアンケートを見ても前向きな意見がたくさん出され、新しい学校に向けてよい学校にしたいという意識を持っていると強く感じる。

中校長

A 生徒自身が運営していける学校、生徒の力が最大限発揮できる学校として、8,9年生が学校の内外に目を向けることができるように1年生からの積み上げが必要だと感じている。

事務局

Q 学校の始業時刻について意見を伺いたい。

中校長

A 10分以上遅らせるようなことは難しい。

- 委員 | A 休み時間や部活動の時間は十分確保したい。
- 事務局 ● 出された意見をもとに、通学方法も合わせて検討していく。

6. 閉 式

- 委員長が閉会を宣言。